

学友会会誌 Vol.44目次 -2024年12月発行-	執筆者(敬称略)	肩書
表紙絵『セーデルマルク島一夏景色』	伊藤壽記	大阪がん循環器病予防センター 所長
総会『ユビキチンの新たな機能と免疫疾患』	岩井一宏	京都大学 理事・副学長、大学院医学系研究科 細胞機能制御学 教授
<b>シンポジウム『医師の働き方改革の現状とワークライフバランス』</b>		
①基調講演	馬場武彦	日本医療法人協会 副会長、社会医療法人 ベガサス 理事長
②ディスカッサント報告	大植雅之	大阪国際がんセンター 病院長
③ディスカッサント報告	坂田泰史	阪大病院 副院長、循環器内科学 教授
<b>生涯教育講座『子どもの成長、発達、教育』</b>		
①子どもの発達とその障がい:連合小児発達学研究所の15年	佐藤 真	連合小児発達学研究所 心の発達神経科学講座(分子生物遺伝学領域) 教授・前研究科長、解剖学講座(神経機能形態学) 教授
②子どもの成長と運動発達、その障がい	北畠康司	小児科学 教授
③子どもの脳の発達と発達障がい	下野九理子	連合小児発達学研究所 心の発達神経科学講座 教授
④-小児神経発達症の治療と支援 将来の「自立」を目指して-	橘 雅弥	連合小児発達学研究所 附属子どもの心の分子統御機構研究センター 准教授
⑤子どもの発達と睡眠	毛利育子	連合小児発達学研究所 心の発達神経科学講座 准教授
⑥子どもの発達と学校教育	和久田 学	公益社団法人 子どもの発達科学研究所 所長、連合小児発達学研究所 招聘教員
<b>特集『中毒学の歴史と最前線』</b>		
①中毒学序論-特集にあたって	松本博志	法医学 教授
②中毒学の歴史	山本琢磨	兵庫医大 法医学 准教授
③アルコール・薬物中毒死の特徴と知見	片田竜一	法医学 准教授
④薬毒物分析の最前線	原田和生	薬学研究所・法医学 准教授
⑤濫用薬物の依存機序	島田昌一	神経細胞生物学 教授
⑥アルコール・濫用薬物の行動解析	前田秀将	次のいのちを守る人材育成教育研究センター 特任准教授(常勤)
⑦急性中毒治療の最前線	織田 順	救急医学 教授
<b>地域医療に関する研究助成報告</b>		
①脳動脈瘤に対する低パルスレート下コイル塞栓術による被曝低減の試み	清水豪士	(採択時)関西労災病院 脳神経外科 医員 (現在)旭川医科大学 脳神経外科学講座 助教
②慢性肝疾患患者におけるサルコペニア発生に寄与する因子および亜鉛投与のサルコペニア発生への影響に関する検討	倉橋知英	大阪労災病院 消化器内科 医長
③脳波データに深層学習アルゴリズムを適用した認知症患者の識別技術の検証と識別技術のパッチ式脳波計への応用	宮崎友希	(採択時)清順堂 ためなが温泉病院 医師 (現在)精神医学 医員
編集後記	森井英一	会誌編集委員長・病態病理学 病理診断科 教授